

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 ITホールディングス株式会社
コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 晋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 浦田 幸夫

TEL 03-6738-7557

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	208,927	△10.3	5,919	△49.0	5,818	△50.7	2,337	△46.3
21年3月期第3四半期	232,985	—	11,613	—	11,794	—	4,353	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	27.29	—
21年3月期第3四半期	51.28	51.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	305,953	148,492	43.2	1,530.97
21年3月期	295,327	146,216	44.4	1,541.17

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 132,202百万円 21年3月期 131,054百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	32.00	32.00
22年3月期	—	12.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△8.4	14,500	△39.0	14,000	△40.7	6,500	△30.9	75.74

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 ソラン株式会社) 除外 1社 (社名 株式会社インテックホールディングス)
詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 86,373,919株 | 21年3月期 | 86,372,339株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 22,156株 | 21年3月期 | 1,337,013株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 85,647,596株 | 21年3月期第3四半期 | 84,882,742株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年11月10日に公表いたしました連結通期業績予想は、本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、一部で持ち直しの動きが見られるようになったものの、円高やデフレにより企業収益は引き続き減少し、国内景気は依然低調に推移しております。

情報サービス産業においても、日銀短観（平成21年12月調査）におけるソフトウェア投資額の当年度計画が前年度を大きく下回る水準にあり、景気動向や企業収益の厳しさを背景とする顧客のIT投資に対する慎重な姿勢や抑制の動きが当産業に大きな影響を及ぼしております。

このような状況の中、当社グループでは、営業提案活動の強化や経費削減などに努めるとともに、当業界のパラダイム・シフトに適応した事業展開を見据え、クラウドサービス事業基盤の構築・整備などを推進しています。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高については、顧客のIT投資抑制の影響などにより208,927百万円（前年同期比10.3%減）となり、利益面については、売上高減少の影響に加え、ソフトウェア開発分野における営業関連費用など販管費が増加したことなどから、営業利益5,919百万円（同49.0%減）、経常利益5,818百万円（同50.7%減）、四半期純利益2,337百万円（同46.3%減）となりました。

分野別の売上高は次のとおりであります。

①アウトソーシング・ネットワーク分野

当第3四半期連結累計期間の売上高は、平成20年7月に子会社化した株式会社ネクスウェイの業績が寄与しましたが、主要顧客の価格見直し要請などもあったことなどから、91,070百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

②ソフトウェア開発分野

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前期中に大型案件が完了したことに加え、顧客のIT投資抑制の影響を受け、新規案件の受注に苦戦したことなどから、96,333百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

③ソリューション分野

当第3四半期連結累計期間の売上高は、景気動向によりハードウェア需要が減退したことなどから、16,187百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

④その他の分野

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新リース会計基準の適用に伴う売上高の減少があったことなどから、5,335百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

当社グループは、IT業界のリーディング企業として確固たる地位を確立することを目指し、平成21年4月から3カ年を計画期間とする第1次中期経営計画「IT Evolution 2011」をスタートしました。

当社は中期経営計画の方針に沿って、ソラン株式会社を平成21年12月に株式公開買付けにより子会社化し、平成22年4月には株式交換により同社を完全子会社化する予定です。当社グループへのソラン株式会社の参画により、顧客基盤、生産基盤の充実が図られるとともに、より大規模な受注が可能となります。

なお、当社は、グループフォーメーションの最適化を進めており、平成22年4月に株式会社インテックの子会社のうち、株式会社アイ・ユー・ケイ及び中央システム株式会社を、当社の直接の子会社とする予定です。また、当社の子会社であるティアイエスタータルサービス株式会社をT I S株式会社の子会社にする予定です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前期末の295,327百万円から10,626百万円増加し、305,953百万円となりました。これは主に、ソラン株式会社の連結子会社化による増加30,908百万円（同社に係るのれん4,396百万円を含む。）、仕掛品の増加5,635百万円などがあった一方で、受取手形・売掛金の減少29,101百万円などがあったことによるものです。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の部は、前期末の149,110百万円から8,350百万円増加し、157,460百万円となりました。これは主に、ソラン株式会社の連結子会社化による増加10,168百万円、同社子会社化のための資金調達による短期借入金の増加19,500百万円などがあった一方で、支払手形及び買掛金の減少8,215百万円、賞与引当金の減少5,250百万円、未払法人税等の減少2,891百万円などがあったことによるものです。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、前期末の146,216百万円から2,276百万円増加し、148,492百万円となりました。これは主に、自己株式（子会社所有の当社株式等）の処分による増加2,298百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,384百万円などがあった一方で、利益剰余金の減少1,421百万円（四半期純利益の計上による増加2,337百万円、剰余金の配当による減少3,757百万円）などがあったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社では、以下の状況を踏まえ、平成21年11月10日に発表した当期の通期連結業績予想を修正することといたしました。なお、個別業績予想および配当予想の修正はありません。

景気の先行き不透明感が強く、顧客のIT投資に対する一段の慎重な姿勢や抑制の動きを受け、当社グループを取り巻く事業環境は短期的には大変厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社はグループ内各社での連携を進め、共同提案による受注が増加傾向にあります。また、グループ横断的に、外注費の適正化や経費削減などの利益率向上にも継続的に取り組んでいます。しかしながら、顧客からの一段の価格見直し要請や開発案件の本格開発時期の遅延などから、当期につきましては売上高、利益とも従来計画を下回る見込みとなりました。なお次期に向けての足元の商談は活発化しており、着実に受注につなげることで、収益の回復・拡大に努めてまいります。

なお、ソラン株式会社の子会社化に伴う当第4四半期連結会計期間ののれん償却額は、220百万円の予定です（のれん総額4,396百万円）。本連結業績予想には、ソラン株式会社の当第4四半期連結会計期間の連結加算分、売上高13,300百万円、営業利益980百万円（のれん償却後）、経常利益880百万円、当期純利益510百万円を含んでいます。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 平成21年11月10日発表	322,000	20,000	19,500	9,000	104.87
今回修正予想 (B)	310,000	14,500	14,000	6,500	75.74
増減額 (B-A)	△12,000	△5,500	△5,500	△2,500	—
増減率 (%)	△3.7%	△27.5%	△28.2%	△27.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	338,302	23,787	23,604	9,406	110.74

(注) 上記予想数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、ソラン株式会社の株式を新規取得したことにより、連結の範囲に含めております。

株式会社インテックホールディングスは、平成21年10月1日に株式会社インテックに吸収合併されたため、当第3四半期連結会計期間において連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準について、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作ソフトウェア開発から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高及び損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,140	37,524
受取手形及び売掛金	39,602	62,862
リース債権及びリース投資資産	7,775	7,274
有価証券	301	1,501
商品及び製品	3,341	2,799
仕掛品	19,842	11,579
原材料及び貯蔵品	222	234
繰延税金資産	8,303	11,075
その他	7,731	6,203
貸倒引当金	△226	△255
流動資産合計	135,036	140,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,722	53,278
機械装置及び運搬具(純額)	5,076	5,799
土地	22,671	21,925
リース資産(純額)	2,696	1,235
その他(純額)	8,153	6,809
有形固定資産合計	91,320	89,048
無形固定資産		
のれん	7,583	4,839
その他	12,227	10,162
無形固定資産合計	19,811	15,001
投資その他の資産		
投資有価証券	32,012	26,904
繰延税金資産	9,670	6,762
その他	20,868	19,489
貸倒引当金	△2,765	△2,678
投資その他の資産合計	59,785	50,477
固定資産合計	170,917	154,527
資産合計	305,953	295,327

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,611	18,626
短期借入金	38,431	22,919
1年内償還予定の社債	8,000	5,100
未払法人税等	523	3,390
賞与引当金	5,028	9,830
その他の引当金	523	71
その他	25,003	22,112
流動負債合計	89,121	82,051
固定負債		
社債	7,600	11,500
長期借入金	42,013	41,013
リース債務	3,897	2,549
退職給付引当金	10,456	8,113
役員退職慰労引当金	475	248
繰延税金負債	657	682
再評価に係る繰延税金負債	993	993
その他	2,246	1,958
固定負債合計	68,339	67,058
負債合計	157,460	149,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,001	10,000
資本剰余金	85,207	86,321
利益剰余金	38,765	40,186
自己株式	△57	△2,354
株主資本合計	133,917	134,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	266	△1,118
土地再評価差額金	△1,841	△1,841
為替換算調整勘定	△140	△139
評価・換算差額等合計	△1,715	△3,098
新株予約権	18	8
少数株主持分	16,271	15,154
純資産合計	148,492	146,216
負債純資産合計	305,953	295,327

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	232,985	208,927
売上原価	190,794	171,811
売上総利益	42,191	37,115
販売費及び一般管理費	30,578	31,196
営業利益	11,613	5,919
営業外収益		
受取利息	51	58
受取配当金	473	503
負ののれん償却額	718	66
その他	423	754
営業外収益合計	1,667	1,382
営業外費用		
支払利息	834	772
創立費	110	—
その他	540	711
営業外費用合計	1,485	1,484
経常利益	11,794	5,818
特別利益		
投資有価証券売却益	8	109
子会社清算益	20	—
貸倒引当金戻入額	67	92
その他	41	7
特別利益合計	137	209
特別損失		
固定資産除却損	196	394
投資有価証券評価損	1,519	162
減損損失	—	1,149
その他	463	128
特別損失合計	2,179	1,834
税金等調整前四半期純利益	9,753	4,193
法人税、住民税及び事業税	2,067	512
法人税等調整額	2,478	987
法人税等合計	4,546	1,500
少数株主利益	853	356
四半期純利益	4,353	2,337

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考)

平成22年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

【ITホールディングス連結】

1. サービス分野別売上高

(単位：百万円)

	平成22年3月期						通期 [B]	進捗率 [A/B]
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間 [A]			
売上高	65,855	81,098	146,954	61,972	208,927	310,000	67.4%	
アウトソーシング ネットワーク	30,870 46.9%	30,753 37.9%	61,623 41.9%	29,447 47.5%	91,070 43.6%	125,700 40.6%	72.5%	
ソフトウェア開発	27,425 41.6%	42,882 52.9%	70,308 47.9%	26,024 42.0%	96,333 46.1%	152,200 49.1%	63.3%	
ソリューション	5,798 8.8%	5,999 7.4%	11,798 8.0%	4,389 7.1%	16,187 7.7%	24,600 7.9%	65.8%	
その他	1,760 2.7%	1,463 1.8%	3,224 2.2%	2,111 3.4%	5,335 2.6%	7,500 2.4%	71.1%	

[計画]

(単位：百万円)

	平成21年3月期						通期 [B]	進捗率 [A/B]
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間 [A]			
売上高	66,934	96,491	163,426	69,559	232,985	338,302	68.9%	
アウトソーシング ネットワーク	28,768 43.0%	32,026 33.2%	60,794 37.2%	31,548 45.3%	92,342 39.6%	125,720 37.2%	73.5%	
ソフトウェア開発	28,894 43.2%	53,106 55.0%	82,000 50.2%	29,739 42.8%	111,740 48.0%	175,847 51.9%	63.5%	
ソリューション	6,361 9.5%	8,553 8.9%	14,914 9.1%	5,903 8.5%	20,817 8.9%	29,409 8.7%	70.8%	
その他	2,911 4.3%	2,806 2.9%	5,717 3.5%	2,368 3.4%	8,085 3.5%	7,325 2.2%	110.4%	

※ 平成22年3月期通期の計画値は、本日公表いたしました修正後の計画値を記載しております。

※ 上記計画数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 「その他」に含まれるリース事業については、平成21年3月期第3四半期連結累計期間までは旧リース会計基準(転リース取引分をグロス処理)を適用しており、平成21年3月期第4四半期以降は新リース会計基準(転リース取引分をネット処理)を適用しております。

※ 平成22年3月期より工事進行基準を適用しております。

2. 受注高及び受注残高【ソフトウェア開発】

(単位：百万円)

	平成22年3月期				
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
受注高	38,125	31,682	69,808	31,019	100,827
期末受注残高	63,508	52,308	52,308	63,418	63,418

(単位：百万円)

	平成21年3月期						
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間	第4四半期 連結会計期間	通期
受注高	35,152	38,741	73,894	42,601	116,496	39,889	156,385
期末受注残高	78,527	64,163	64,163	77,025	77,025	52,808	52,808

※ アウトソーシング・ネットワークサービスは継続業務でありますので、記載しておりません。

※ 平成22年3月期第3四半期の期末受注残高は、平成21年12月に子会社化したソラン株式会社(連結)の期末受注残高6,115百万円を含んでおります。